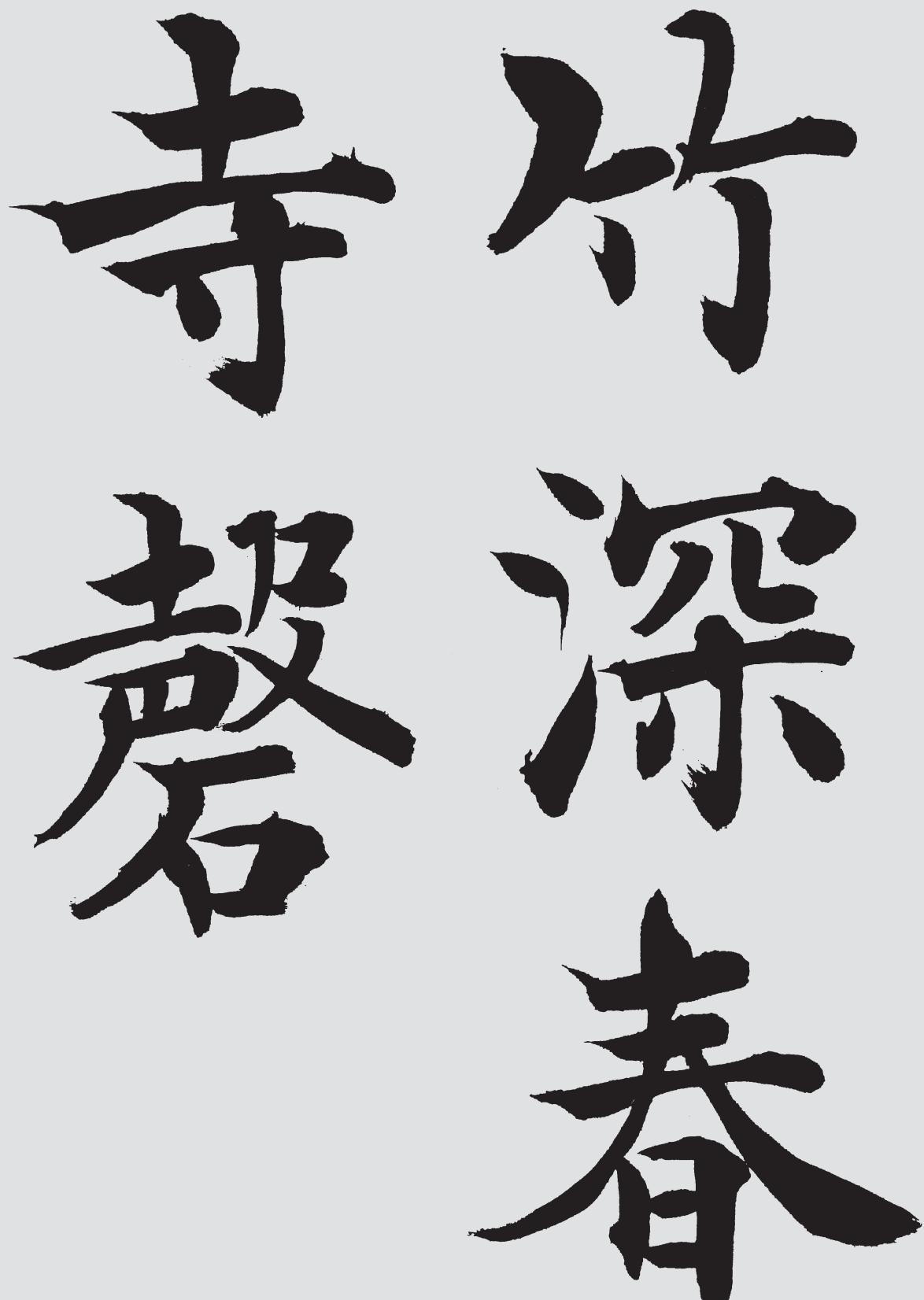


参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

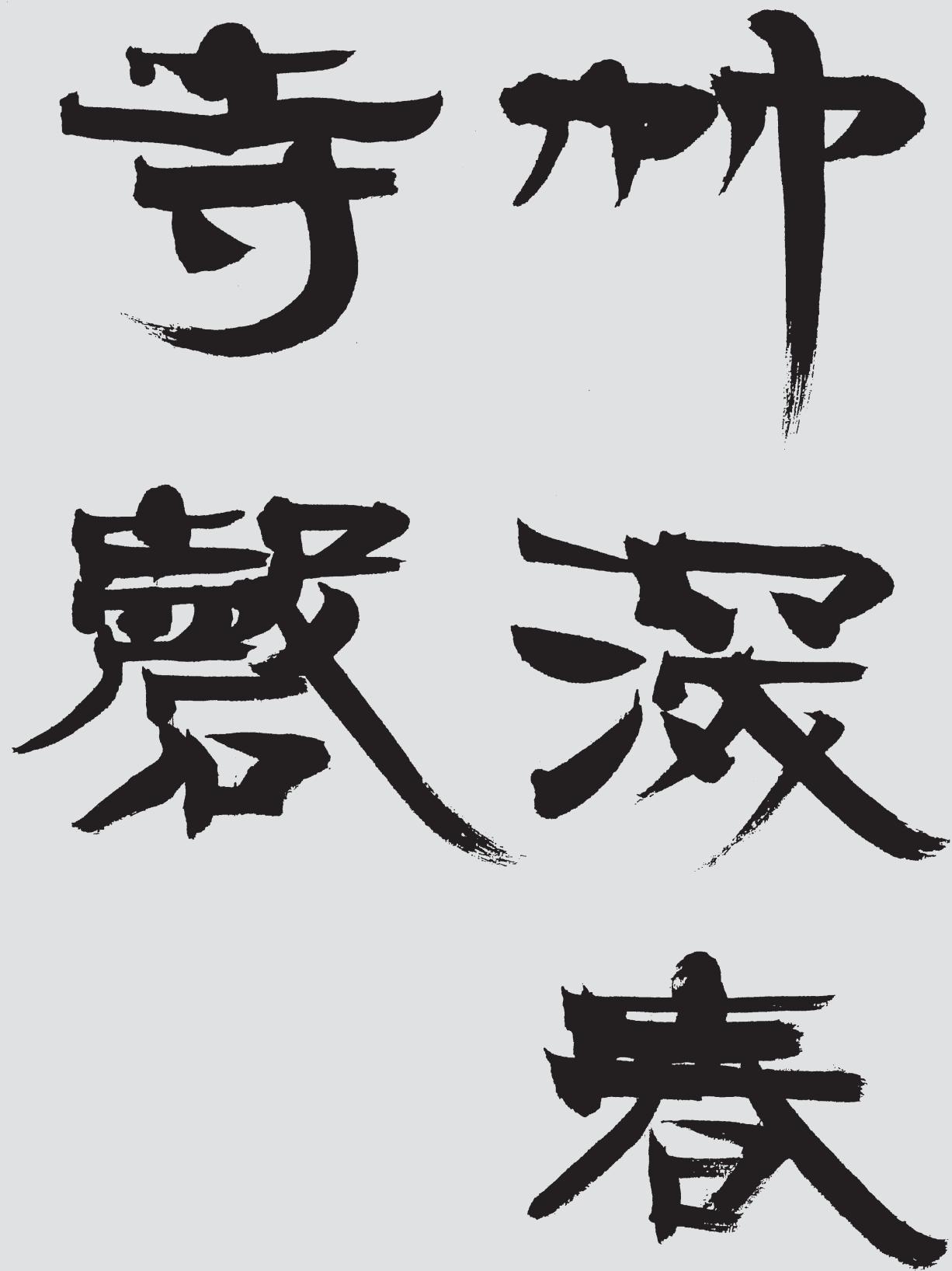


竹は深し
春寺の
磬

高木聖雨先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



条幅かな

条幅規定

C部（二段以下）

A部（準五段以上）
B部（四段～準三段）



集字聖教序（東晉・王羲之）

聖記夫顯揚正教非智無以廣其文崇闡微

浮 乘 清 鄉 先 生

聖記夫顯揚正教非智無以廣其文崇闡微

道因法師碑（唐・歐陽通）

碑而不朽其詞曰緬哉佛性廓矣玄門功昭曠

碑而不行其詞曰緬哉佛性廓矣玄門功昭曠

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

（3月10日締切）

半紙規定(二)

半紙規定(一)

曹全碑（漢・作者不詳）

—6—



※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔一級以下〕楷書

終に文徳を以て遠人を懷く

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。



舉孝廉七年

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]
(3月10日締切)

条幅参考本

牆角數枝梅凌寒獨自開遙

知不是雪為有暗香來

義山書

下出義山先生

牆角數枝梅凌寒獨自開遙
知不是雪為有暗香來

牆角數枝梅凌寒獨自開遙
知不是雪為有暗香來

牆角數枝梅凌寒獨自開遙
知不是雪為有暗香來

江川玉堂先生

霜落水禽啼寒流遶大隄長魚不受釣躍過石梁西
霜落ちて水禽啼き寒流大隄を遶る長魚釣を受けず躍って石梁の西を過ぐ

条幅参考本

聞鶯纔覺曉閉戶已晴一
簾窗聞月斜穿枕上生

仁菴書

細野江華先生

聞鶯纔覺曉 閉戶已知晴 一帶窗間月 斜穿枕上生
鶯を聞いて纔に曉を覚え 戸を閉ぢて已に晴を知る 一帶窗間の月 斜に穿つて枕上に生ず

朝平霞山先生

あづまの此山里の夕月夜は
やに見えぬ梅の花も
真實のうら
を霞む

あしひきの 此山里の 夕月夜 ほのかに見るは 梅の花かも

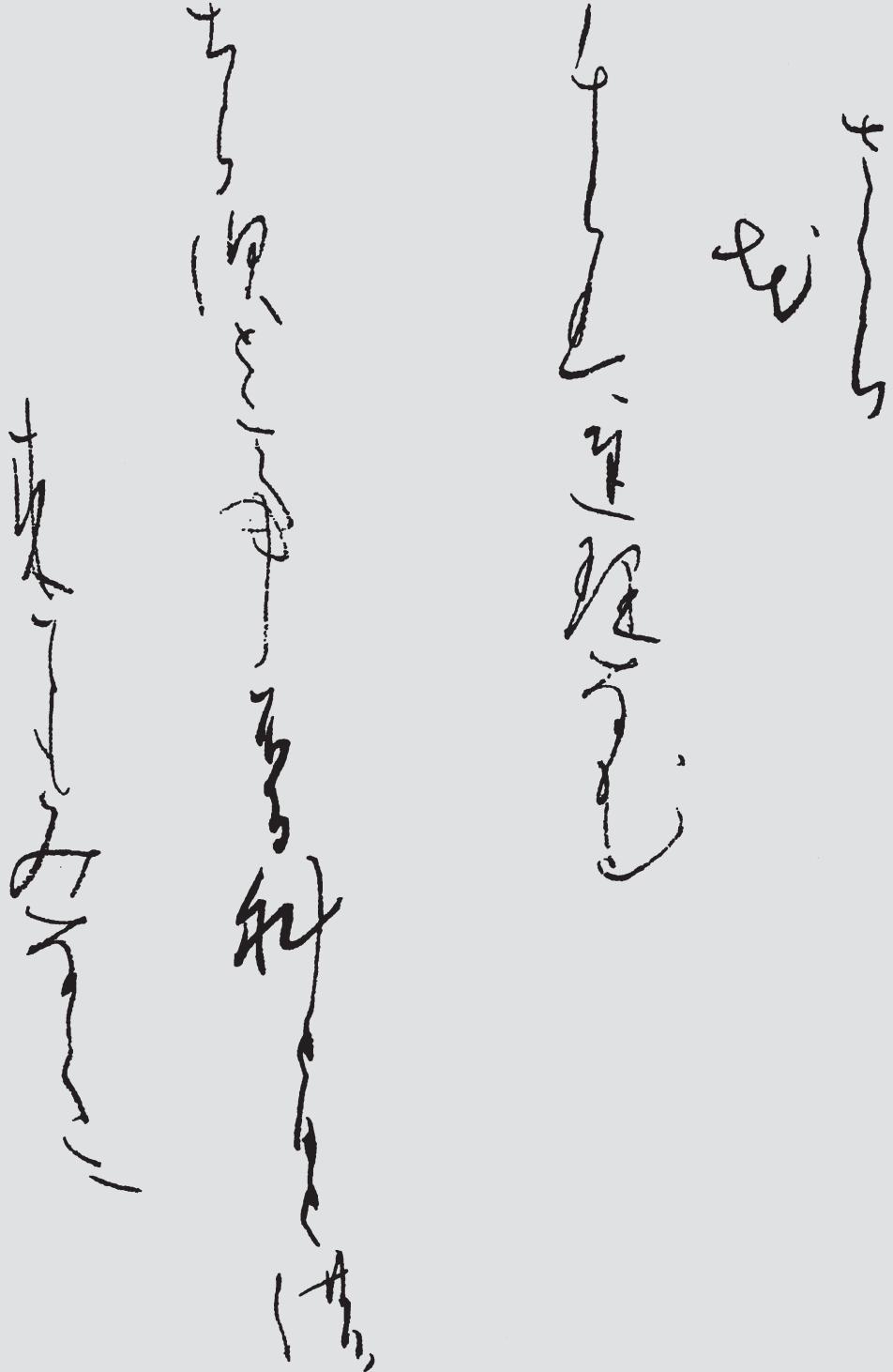
半紙かな（初段以上）

さくらばなち
さくら
千盤遜理奈
ちらば散りなむ
須須不
須須帝
須須日
須須濃
見奈二
（惟喬親王）

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

□

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由



浮乘清郷先生

(3月10日締切)

半紙かな(1級～8級)

いりあひの千鳥なるべき光かな
利非遍日可奈
(阿波野青畝)

支部名 級 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

船久保 棠苑先生

(3月10日締切)

実用文（準三段以上）

〈書風任意〉

誰か思はむ萬葉の夜もよきう
誰か思はむ……春の夜の……。

支部 あ 姓 号

誰か思はむ萬葉の夜もよきう
かの月に若き扇は春の夜の
たてうつるふ萬葉の間とあれ
よしやくば 美酒にうむとい
あがやくし春の夜を。

山 田 翠 露 先 生

(3月10日締切)

実用文（二段以下）

和 泉 千 泉 先 生

今の住居の庭は狭くて私が猫の
額に壁あるほどかないがそれでも

薔薇や山茶花は毎年のよつに

花が絶えない。島崎藤村「巣」

支 部 段 級 姓 号

〈書風任意〉

：猫の額に譬（たと）える……

細字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より
P36

于う 僻へき

闐てん 境きょう

僻地。

※一級～八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。

支部

段級

姓

号

名前は必ず楷書
17cm(ヨコ) × 24cm(たて)

僻 僻 僻 僻 僻 僻
境 境 境 境 境 境
于 于 于 于 于 于
闐 闐 闐 闐 闐 闐
困 困 困 困 困 困
苦 苦 苦 苦 苦 苦
飢 飢 飢 飢 飢 飢
餓 餓 餓 餓 餓 餓

(3月10日締切)

硬筆（初段以上）

雪国の冬は室内は……。

雪国の冬は鉛色の空が広がって
いる。そのまま北窓を閉じて、
雪囲いもして、室内は真昼でも
暗い。雪明りがあつますが、せめて
まぶさずあるのである。

支那名
馬
姓子

青 柳 江 雲 先 生

(3月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部

級

姓
号

いかに才能が豊かでも人間には誠実が
なければ何事においても成功しない。

本院定型用紙・たて半分に書く

硬筆（1級～3級）

支部

級

姓
号

いかに才能が豊かでも人間には誠実が
なければ何事においても成功しない。

田辺翠鶴先生

田辺翠鶴先生

(3月10日締切)

中2用

支部名

段級

名前

先想自由な

渡邊南嶂先生

中3用

支部名

段級

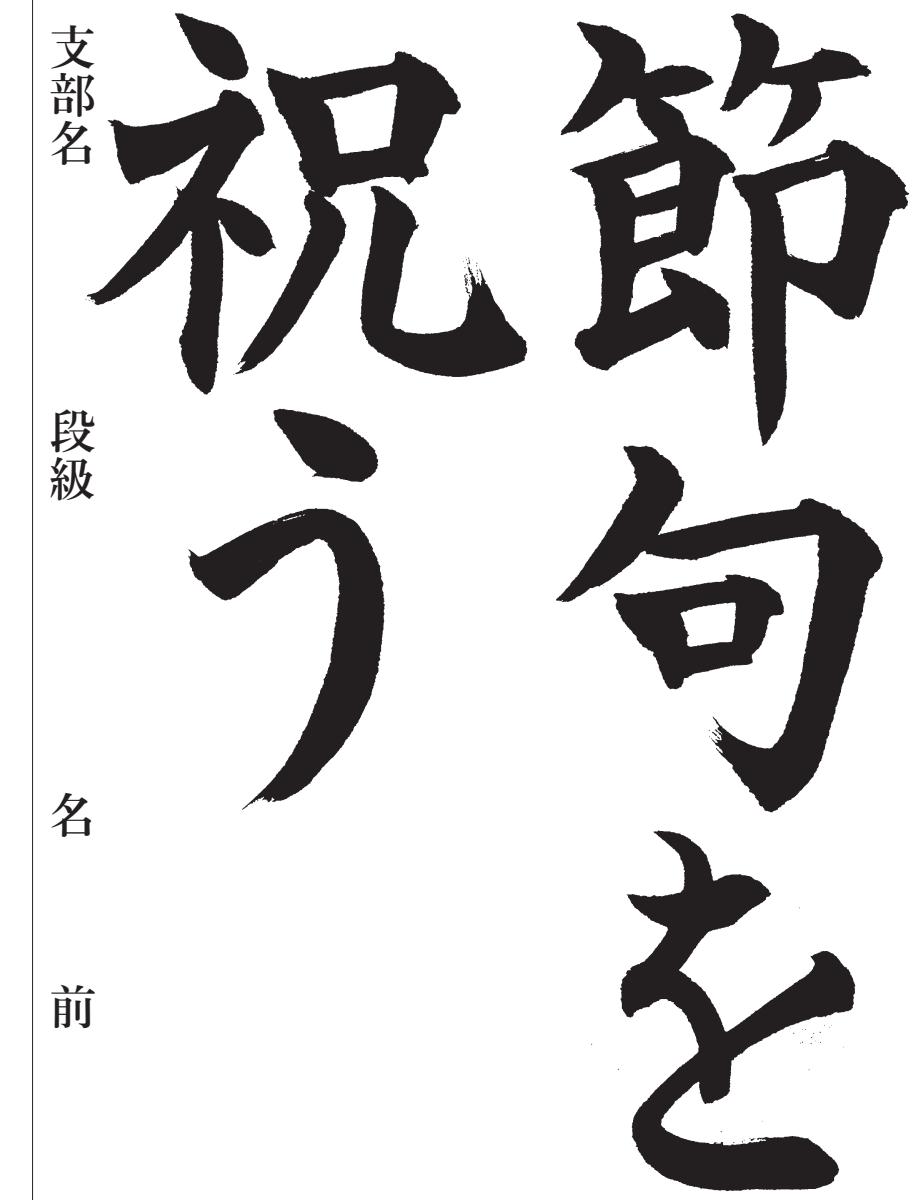
名前

実理想の

小6用

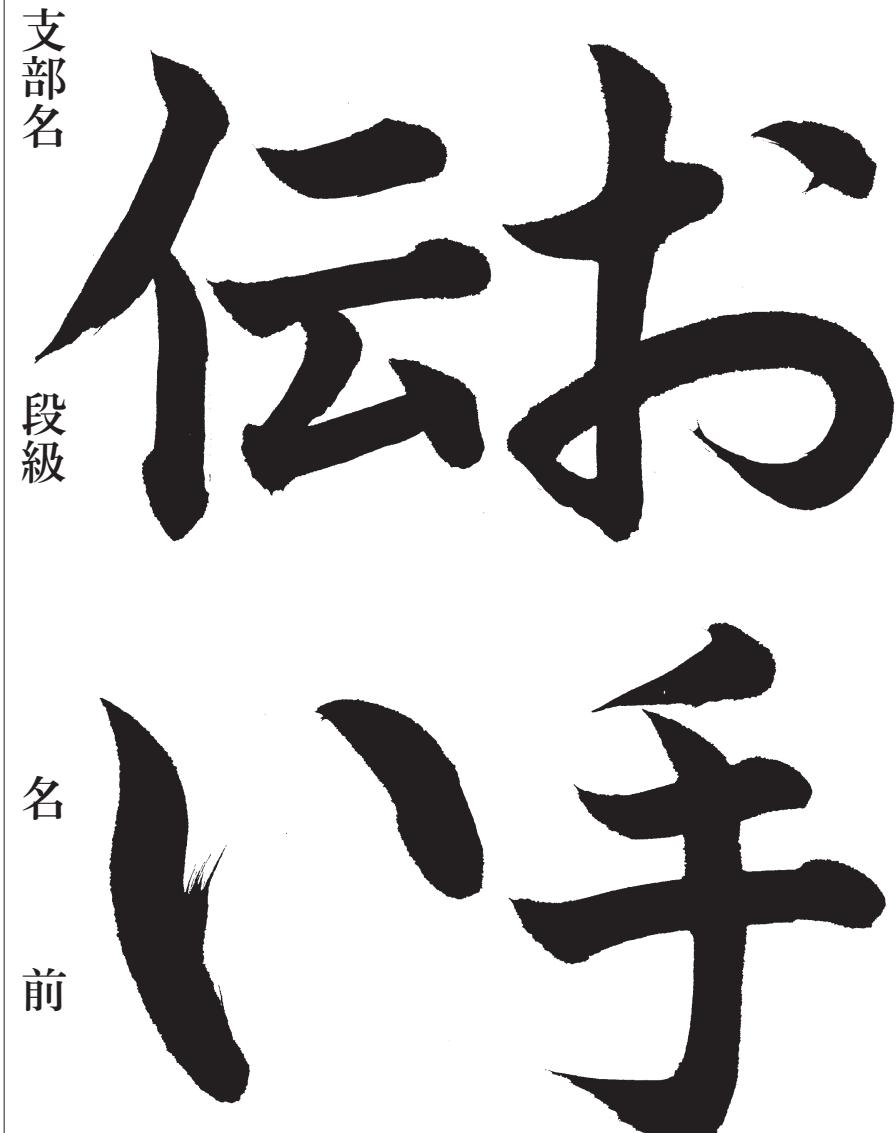


中1用



(3月10日締切)

小4用



小5用



(3月10日締切)

小2用

支部名

段級

名前

サテキ

鈴木翡翠先生

小3用

支部名

段級

名前

のいび
花火

鈴木翡翠先生

(3月10日締切)

中 1

親しい間柄でも、
を保つことが大切。
。 節度

中 2

相手の立場を考え、
みのわかる人になろう。
。 痛

中 3

寒梅は花をつけたかな。
遠い故郷が懐かしい。
。

小1・幼年用

支部名

段級

名前



小1・幼年

つづくえ、いす、えんび
つ、したじき。

小 2

いけにこおりがはり
はるはまだ先です。

小 3

まちどおしい春。
雪がふりつづいている。山は

小 4

寒い冬の日でも外に出
て元気よくあそぼう。

小 5

北国にも、もうすぐ春
の足音が聞こえて来る

小 6

連休でスキー場は、
朝から混雑していた。

小1～小3

鈴木蕙翠先生

先生

小4～小6

田辺翠鶴先生

先生

(3月10日締切)

小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

山の春に

雪が光る

主幹 菅野翠濤

読み = 風上に白鳥あそび年立
季語 = 「年立つ」新年を迎えた厳肅な気持で湖の岸辺に立つと、風が吹きわたつて来る。み
るとその方角に白鳥がゆつたりと優雅に浮いている。新年の淑氣のある句。

中学部かな課題

支部名

段級

名 前

年立

風上に
白鳥あそび

船久保棠苑先生

(3月10日締切)